



ぜつ どうぶつ すく
絶めつしそうな動物はどうやって救ったらいいの

せかいじゅう くにくに と き まも
世界中の国々と取り決めして守る

やせいせいぶつ もり ばし しつげん かいはつ な た ばけ ぼくじょう つく か
 野生生物のすみかだった森や林や湿原が、開発の名のもとに、田や畑や牧場に作り変えら
 れてきました。そこにすんでいた動物は、すみかをうばわれその数を減らしています。ま
 た、食料や装飾品の材料としても、とらえられています。

きんだい さんぎょうかくめいいこう にゆるい ちょうい しゅ ぜつ
 近代(産業革命以降)になってから、ほ乳類と鳥類だけでも300種あまりが絶めつして
 います。現在、動物のすみかを開発から守る自然保護区の指定や、数少なくなった動物
 をとることと、売ることを禁止するワシントン条約を結び、保護する努力がなされています。

ぜつ きき どうしよくぶつ ち い き はってんとじょうこく おお かいはつ ぼく く
 しかし、絶めつの危機にある動物のすむ地域は発展途上国が多く、開発か保護かは国ご
 との事情で、むずかしい問題をかかえています。原始の自然をそのまま残して、世界中から
 観光客を呼びよせて、観光客が使うお金で、経済発展と自然保護とを両立させるなどの努力
 もなされています。

みつ
あとをたたない密りょう

めづち どうしよくぶつ ひとびと かぎ みつ とりひき
 珍しい動物をほしがる人々がいる限り、密りょうはあとをたちません。やみの取引が、
 せかいじゅう おひな おお どうぶつ ほうりつ いはん
 世界中で行われています。多くの動物が、法律に違反してとらえられています。また、かく
 はこ じょうたい こ ゆそうちゅう おお どうぶつ しち お
 して運ぶために、ひどい状態でつめ込まれるので、輸送中に多くの動物が命を落としていま
 す。めずらしいものをもちたがるという人間の欲が、このような密りょうにつながっている
 せかいじゅう ひとりひとり しぜん まも いしき たか かつどう たいせつ
 のです。世界中の一人一人が、自然を守るという意識を高める活動も大切です。

(監修・今泉 忠明)

